

クラブ ファンタジーだより

No. 25 1999・4



ごあいさつ



会長 岡田晴美

幸せな春、風に舞うピンクの花びらに囲まれて、現在の中高部や音楽学部に入學させて頂いた時の感激が、昨日のことのように心新たに思い出されます。

昨年、山内学長(当時)、吉田総務部長にお願いに参りまして、院長、学長、部長会の皆様の御理解と御好意により、飯チャブレン司式のもと、ソールチャペルに於て「クラブファンタジー賞」の授賞式を取り行って頂けることになりました。部長会のメンバー全員が御出席くださり、音楽学部教職員とクラブファンタジーの役員が出席して、この授賞式が出来るようになりましたことを会員の皆様と共に、喜びたいと存じます。今後もお聞き及びの節は、

是非御出席くださいませ。

一九九八年度より、神戸

女学院を支えるべく、教育

振興会が発足致しまして、

寄付を募ることになりました。

た。これからの私学は難しい

時代を迎えますが、私達

を育てて頂いた女学院が、

一層発展致しますことは、

同窓生にとつて喜びであり、

心の支えであると存じます。

少しでも役立ちたいと

考えておりますので是非皆

様も御協力くださいますよ

う、お願い申し上げます。

今年も皆様にとりまして

素晴らしい年でありますよう。

ハナナ・ギューリック・スエヒロ賞
116 岸田 和子 (Co)
116 森玉 美穂 (P)

卒業にあたって

116 中塚雅子 (P)

平成七年、私達は震災直

後の混乱の残る中、例年よ

り少し遅れて入学しました。

岡田山の満開の桜と、落ち

着いた音楽館のたたずまい

を目にしたとき希望の大学

に入学した喜びを実感しま

した。その後、着々と復興

を遂げる街並みと共に私達

も落ち着きを取り戻し、二

回生の半ばには自分達の生

クラブファンタジー賞



116 北野由美子 (P)

豊かな緑に包まれた静かな環境の中、野鳥のさえずりを聞きながら初めて岡田

山を登った時、それはあの忘れることのできない大震災の年でした。時の経つ速さを改めて感じますが、今、神戸女学院を卒業するにあたって、このような輝かしい榮譽を頂けるとは本当に思いがけないことで大変嬉しく思いますと共に今日まで私を暖かく見守り、ご指導下さった先生方に深く感

謝致しております。また人生の一番大切な時期に良き友人と出会え、音楽という専門分野のみならず幅広い一般教育が受けられ、学ぶことの面白さ・喜びを体得できたことは、何ものにも代え難いものとなりました。これからも神戸女学院で学んだことを大切にし、日々努力と精進をして参りたいと思っております。

最後に、四年間惜しみない愛情を持ってご指導下さった先生方並びに職員の皆様に関心から感謝致します。

Music in trouble?

客員教授 カールマン・ドラーフ

(訳 非常勤講師 100 岩田朋子)

カールマン ドラーフ (Kálmán Dráfi)

1955年、ブダペスト生まれ。4歳よりピアノを始める。15歳でブダペストの国際リストバルトークコンクールで特別賞を受賞。その年リスト音楽院に入学する。M.ベッヒャー、P.ゴドシャに師事。1976年、国際リストバルトークコンクールで「バルトーク大賞 (Bartok Grand Prix)」を受賞。19歳で同校を卒業後、モスクワ音楽院に留学。ペラ、ダヴィドヴィチに師事する。22歳で帰国後、すぐに母校で教鞭をとると同時に国際的ピアニストとしての活動が始まる。1985年よりパリに移り、G.ツィフラの主宰するサンリス音楽院で教授を務める。1988年にブダペストの母校に戻り教授として教鞭をとる。現在の主要なオーケストラはもちろん、レンニングラードフィル、チェコフィル、ポストンシンフォニー等重要なオーケストラと、また小沢征爾、小林研一郎等日本人指揮者とも共演している。ピアニストも活躍中で、ハンガリー国立歌劇場オーケストラを指揮してのCD録音もある。



1998年4月より神戸女学院音楽学部客員教授として日本でも教鞭を取っている。

クラブファンタジー便りへの寄稿の依頼を受けた時、大変困惑しました。私は物書きではないからです。私にとつて真の母国語は音楽であり他のどんな言語でもありません(ハンガリー語でさえも...)。そこで簡単に最近私が音楽について興味を持つていること、特に現代音楽について意見を述べてみたいと思います。

音楽を含む全ての芸術は今世紀の後半、大きな危機に直面しています。音楽と人間との結びつきが失われてしまったのです。この悲劇的な状況の理由は一体何なのでしょう? 答えを求め、る為にほんの二、三百年だけ時代をさかのぼってみましょう。

強く確かなつながりを持っていました。当然、音楽もこの考え方に依っており、音楽において最も重要なテーマは神でした。それは社会と音楽が健康的かつ強く結びついていたということです。

古典派の時代(モーツァルト、ベートーヴェン等)になつても、音楽は「人間」と「人間の感情」のストリートな結びつきを失ってはいませんでした。

初めて大きな問題が出現します。ワーグナーの「ヴォータン」(連作オペラ『指環』の中の神々の長)について見てみましょう。彼はもちろん世界最強の存在でしたが、多くの間違いを犯します。「人間」の英雄であるジークフリート(ヴォータンの息子)は、父の武器を壊す能力があり、これは人間が神よりも強い者であり得るということ、即ち「神の死」を意味します。このオペラの終幕では、神の城であるヴァルハラ神殿

が黄金の指環と共にライン川に沈みます。それは金銭に信を置く全ての人に運命をもたらすという「ワーグナー氏」の描く恐ろしい未来劇です。

二十世紀は神と人間の間に全く新しい状況をもたらしました。不幸にも神の人間に対する強く確実な操作力が失われた今、私達は孤独な存在となりました。何という恐ろしい感覚でしょう。これが本当の孤独なのです。音楽や美術がその時代の人々の気持ちを映す鏡であるということは今世紀においても変わりありません。

人間的な感情を持たない無機的な音楽が音楽史上初めてバルトークにおいて現れます。「戸外にて」の「夜の音楽」『舞踏組曲』の第四曲、或いは「組曲op.14」の終曲がその例です。これらの音楽は宇宙の無を表します。そこには酸素も水もそして重力もありません。確かに人々はその音楽に、自分とのつながりや心地良さを見出すことはできません。

バルトークは彼の類い稀な才能によつてこの「無」を芸術的に表現することができました。しかし、どの作曲家にもこれができたわけではなく、また人々もこれを理解することは難しかったようです。

今日、若い世代はとても安直で幼稚なロック音楽を好みます。ロックミュージシャンには莫大な富をもたらすビッグビジネスとなり、若者にはほんの少し心が暖かくなる故でしょう。

私は、真の天賦の才によつて書かれ、興味深く、人間的な感情を持ち、そして「パッハ氏」の音楽のように、神との強い結びつきを見出せる様な新しい現代音楽を紹介することをライフワークにできれば、と願っています。

一九九八年愛校バザーの日、故D・ラーソン先生を記念して、夫人より寄贈された「コノテガシワ」が音楽館正面玄関左手に植樹されました。ご来校の折には、ご覧下さい。

追悼

吉田 實先生

94 谷口千穂

昨年九月五日、敬愛する先生が六十八才で天に召されました。先生は、高井戸教会の教会音楽主任教師として、また日本基督教団の讚美歌委員として教会音楽の質的向上に尽力しておられました。更に、国際的に認められた最初の日本人オルガニストとして演奏会は内外に及び、国際コンクールの審査員としても各国から招聘を受け、イタリアにも招待を受けられた矢先のことでもございました。



先生は、神学部から宗教音楽への志を立てられて、米国ユニオン神学大学院にて宗教音楽博士の学位を取得され、帰国後は東京を拠点として、神戸女学院に於ても、十数年にわたりご指導下さいました。その間に、オルガン専攻が設けられ、講堂にオルガンや音楽館に練習楽器が設置され、キリスト教主義の土壌で専門的にオルガンを学べるといふ、日本では数少ない恵まれた環境が整えられました。先生は一からオルガンを学ぶ者に、美しく鳴らすタッチ、楽曲分析、さらには曲の仕上げ方と一つ一つ丁寧に教えて下さいました。ある時はベンチの横に座り、またある時はギャラリの下から指導して下さいました。ある時は今も耳について忘れられません。模範演奏して下さいました先生の音は、情感のこもったしかも透明な響きで、神経の行き届いた言葉のように心に染み透りました。

余りにも突然なことに、花園のようにしつらえられた祭壇の前で、皆涙の抑えようもなく、未だ悲しみの中にありますが、門下生が集まれば先生の思い出話も尽きず、今尚私達の心の中に温かく生き続けて下さっていることを強く感じております。先生を通して結ばれたこの交わりを大切に、先生の蒔いて下さった教えの種をこのままにはいけなさと念じている日々でございます。

最後に、いつもケーキを焼いておもてなしして下さいました奥様の上に、主の豊かな慈しみとお支えをお祈り致しますと共に、先生の御霊の永遠の安らぎをお祈り申し上げます。

ザイラー美枝先生

85 松村敏子

美枝先生は、神戸女学院大学音楽学部を卒業後、ジュリアード音楽院に留学され、帰国後母校でピアノの非常勤講師として九年余、モーツアルテム音楽院で二十一年間、晩年は教授として教鞭を執られました。私が先生に初めてお会い



したのは、音楽学部受験のため仁川のご自宅へお伺いした高校三年生の六月でした。十一月に四番目のお嬢様を出産されたにもかかわらず、受験の準備を下さったそのエネルギーと熱心なお気持ちに、頭の下がる思いがしました。先生のレッスンは曲の解釈を理路整然と巧みな比喻を使って説明され、美しいお声で旋律を歌われるというとても判り易いものでした。又、努力して良くなった箇所は必ず褒めて生徒の意欲を湧き立たせるものでした。そしていつも生徒の家族の事まで気にかけて下さる、人間的にも温かい先生でした。

てられるのは、言い知れぬご苦労があったと思われませんが、いつも笑顔で強く明るく生きておられました。その先生が一昨年三月、大腸ガンの手術を受けられたと知り、私はいたたまれない思いで八月にザルツブルグのお宅へお見舞いに伺いました。その時はまだお元気で、お嬢様のことをお幸せそうに話しておられたお姿が今でも目に浮かびます。その後カナダ、ドイツとお嬢様の演奏を聴きに行かれたり、日本でお正月を過ごされていたので必ず回復されるものと信じておりましたのに、昨年の九月三日、六十六才の御生涯を終えてしまわれ、とても残念でなりません。

ザルツブルグでのお葬式に行けなかつた私達門下生にとって、十月二十一日に先生ゆかりの関西学院教会で追悼会を持つたことは、せめてもの慰めになりました。先生が天国で安らかに眠られますようお祈り申し上げます。

舞台のちよつと恐い思い出

97 釜洞 祐子



女学院のキャンパスから
巣立つて二十年近くになり
ます。その大学時代を含め
て、これまでの舞台で恐い
思いをした幾つかをお話し
したいと思います。

まず、女学院の四回生の
時。詳しい状況は忘れまし
たが、どうも準備が不十分
なまま歌のテストの日を迎
えてしまったのだと思いま
す。講堂の舞台上に出てい
って暗い客席と向かい合っ
た途端、私はすくみあがり
ました。すわっている学生
達、先生方の黒いシルエッ
トがまるで幽霊の集団のよ
うに見えるからです。今で
もその時目に映った光景と
恐怖は忘れがたく、練習が
足りないとい幽霊が見えるぞ
と私を戒めてくれます。

それから、ドイツで仕事
を始めて何年かたった頃の
ある『魔笛』の公演でのこ
と。私の役どころである夜
の女王は、二幕の有名なア
リアの直前に娘のパミーナ
に短剣を差し出して、これ
でザラストロを倒せとセリ
フだけでせまるシーンがあ
るのですが、その気合いの
こもったセリフのやりとり
の最中に何を勘違いしたの
か指揮者が棒を振り下ろ
し、アリアの前奏が始まっ
てしまいました。私の口か
らはまだセリフの続きが流
れ、前奏そのものは約三秒
程ですから、あつと思う間
もなく歌い出さねばならな
い所が過ぎていきました。
啞然と目を見はるパミーナ
を前に、途中からでも歌わ
ねばとあせつたものの、よ
く似た音型が続いているの
で、どこだかわからなくな
り、えいままよと飛び込ん
だら間違った箇所、やっ

と正しい軌道に乗った途端
にあの最高音の聴かせどころ
がせまり…と散々なめに
あいました。舞台では何が
起こるかわからないという
ことを思い知らされた経験
でした。

またある時は、何度も声
をかけてくださる劇場に断
りきれなくなつて、仕事が
詰まっているにもかかわらず
客演を引き受けたところ、
無理を押ししたのがたた
つて声が思うように出ず、
苦い思いをしたことがあり
ます。本番の時間が近づい
てから、どうも喉の調子が
変だと気がつき、楽屋には
他の出演者もいたので思い
余つてトイレの中で声を出
してみたら、高音がかすれ
てうまく出ないのです。本
番はもう薄氷をふむような
思いでした。仕事をしてい
れば、無理をしなければな
らない時も多々あります
が、出来ない時には勇気を
出してノーと言いつけるこ
とが大切なこともあると、
身をもつて教えられました。
つい先年の日本でのある

オペラ公演の折。立て板に
水のごとく長いセリフを
切々と訴えるむずかしい場
面の出番となり、気合いを
入れてその人物の気持ち一
杯になつて、いざと楽屋か
ら出かけたところ、本番中
にもかかわらず、台本作家
が幼い子供の手を引いて
「静かにするんだよ」と見
学しに入ってきたのと舞台
の袖でぶつかりました。そ
の男の子の顔を見た途端に



テレマン「エマとイギナル」の一場面

ドイツで留守番をしている
息子のことが頭をよぎり、
テンションが高くなつてい
ますから涙ぐみそうになつ
て、緊張がぐらつと揺らい

でしまったのです。セリフ
が混乱しそうなものを押
えながら、歯を食いしばつ
て舞台へと足を踏み出しま
した。

こうしてたくさん恐い
思いをして、少しは賢くな
り、ある程度臨機応変に対
応できるようになつてきま
したが、これからもきつと
思いがけぬことが待ち受け
ていることでしょう。なか
なかスリル満点な道を選ん
でしまったものだと思います。
でも、こんなに心臓の
縮む思いを続けてもなお演
奏したいと思わせるのです
から、音楽にはなにか魔力
とでも言いたくなるような
ものが潜んでいるのかもしれ
ません。演奏前後のハプ
ニングなど、その作品から
受ける感動や、それに取り
組む練習の苦しくも楽しい
時間を思えば取るに足らな
いことのように感じられる
のですから。

演奏会のたびのドキドキ
ハラハラも、過ぎてしまえ
ば笑い話と気を大きく持ち
たいものだと思います。

一九九八年度は、クラブファンタジーの夕べを十一月二十日(金)宝塚ベガ・ホールで開催致しました。五十周年を間近に控え、一九七七年より趣を変えて、現在既に社会的評価を受け、幅広く活躍されている方々、及び今後の活躍を大きく期待されている方々に出演して頂いております。皆様の御協力によりまして大変盛会となりました。本年もなお一層充実した演奏会を開催したいと思っております。多くの方々を御来場下さいますようお願い致します。



86 稲村邦子

クラブファンタジーでは、演奏会をなさる方の後援をさせて頂いておられます。ここに'98年度の後援状況をお知らせ致します。今後、演奏会の後援を希望される方は、後援依頼書を左記までご請求下さい。



'98年度
クラブファンタジー
後援について

クラブファンタジーの夕べ

1998年11月20日(金)
於：宝塚ベガ・ホール

第一部

1. ヴァイオリン独奏 菊本恭子 M109 専110
伴奏 中道ゆう子 M109 専110
ヴァイオリンとピアノの為のソナタ
.....ドビュッシー
2. ピアノ独奏 小池 泉 M105
変奏曲 作品3シマノフスキー
ワルツ形式練習曲 作品52第6番サン=サーンス
3. オルガン独奏 船木真理子 M110
コラール"目覚めよ、と叫ぶ声が聞こえ"BWV645J.S.バッハ
幻想曲へ短調K.V.608モーツァルト

第二部

1. ソプラノ独唱 丸山有子 M92
伴奏 石井なをみ M97
祈り }
徒歩旅行 }ヴォルフ
隠棲 }
もう春だ }
赤いばら }
わが心は冷たく閉ざし }R.シュトラウス
帰郷 }
悪いお天気 }
2. ピアノ独奏 南 祐子 M86
スケルツォ 作品39 嬰ハ短調ショパン
スケルツォ 作品54 ホ長調ショパン

1998年度 後援演奏会

1. ワルシャワ・フィル コンサートマスターを迎えて 「ピアノ・トリオ」 6月19日 岩崎美穂 (M103 P)	13. 四手の作品によるピアノデュオリサイタルVol.3 11月6日 萩田 泉 (M94)
2. 西 順子ソプラノ納涼チャリティコンサート 8月30日 (M99)	14. フルートとギター之夜 11月11日 前田綾子 (M111)
3. 湯川美杉ピアノリサイタル 9月11日 (M113)	15. 響の会作品発表コンサート 11月12日 丸尾喜久子(M93) 田林須美江(M96) 木村三奈子(M96) 橋本玲子(M99) 大倉恭子(M102) 大野和子(M104) 敷地文江 (M104)
4. 室内楽の夕べ 9月28日 前中明子(M77 P)	16. 碓山典子ピアノリサイタル 11月16日 (M105)
5. 保科礼子とセント・ジョーン弦楽四重奏団による 室内楽の夕べ 9月29日 (M76 P)	17. 池田純子ピアノリサイタル 11月16日 (M102)
6. 安藤史子フルートリサイタル {10月3日 (M102) {10月9日	18. 下西美都チェンバロリサイタル 11月21日 (M109)
7. 谷口敦子ピアノリサイタル 10月7日 (M106)	19. 釜洞祐子ソプラノリサイタル 11月22日 (M97)
8. リスト協会国際交流コンサート 10月7日 南 祐子(M86 P) 大川内玲子(M87 P)	20. 島 敏子ピアノリサイタル 12月19日 (M108専109)
9. ジョイント・リサイタル 10月11日 岡 香里(M111 Vo)	21. ジョイントリサイタル '99 1月24日 小池 泉(M105 P)
10. 関谷範子 林 有津子ジョイントリサイタル 10月18日 (M96 P) (M99 Vo)	22. キャトル・クルール { '99 2月2日 { '99 2月9日 前田綾子 (M111 F1)
11. 末木みどりヴァイオリンリサイタル 10月31日 (M113)	23. 谷口敦子ピアノコンサート '99 2月11日 (M106)
12. ヴェルデルーチェ音友会会員によるコンサート 10月31日 辻 真利恵(M112 P) 熊谷啓子(M101 P) 平井砂絵子(M108専109 P) 岩田朋子(M100 P)	24. 船木真理子オルガンリサイタル '99 2月21日 (M110)
	25. クリスタルチャペルコンサート '99 2月26日 福岡千夏 (M114 Vo) 他

同窓生訪問

88 槇 佳子

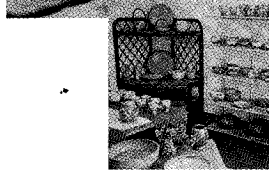
卒業後、自分の専門だけでなく、違う分野にチャレンジして才能を伸ばしておられる方もいらっしゃると思います。今回は、バイオリンの世界にどっぷり浸っていた生活から、陶器の世界に入られた88槇佳子さんに、いろいろ伺ってみました。

—そもそも音楽から陶器へ入られたきっかけは？

「36歳の時に、同じ年の友人が病気で亡くなりました。その事が他人事とは思えず、自分の残りの人生を考えた時、今まで知らなかった世界でもう一度自分を試してみたい、と思ったのです。それで、以前から好きだった陶器の世界に、飛び込みました。」

—音楽をされてきた事が、陶器作りに生かされていますか？

「音楽には、集中力とさうとうと



えてもらい、

いう事が必要でした。陶器についても同じです。音楽をしてきたお陰で、一人でもコツコツ創るといいう作業が、苦になりません。」

—陶器と音楽の共通点は？

「どちらも、いかに自分のイメージを表現するかという事だと思えます。」

—どの様な作品を心がけていらっしゃるのですか？

「日常使いの器ですから、自分が毎日使いたいと思うもの、使い易さも大切にしています。」

—家庭との両立の秘訣は何でしょうか？

「主人も音楽の仕事に關わっておりますので、お互いにそれぞれの世界を大切にすることでしょうか。主人が通勤できる範囲であれば良いということ、高槻から信楽に移りました。」

槇さんは、基本を信楽の窯元で教えてもらい、

現在は土練りから窯焚きまで全て独りでされ、ご自分の好きな作品を創っておられます。信楽の冬は厳しく、零下15度にもなります。槇さんは、そこで自分のイメージをふくらませ、彼女の世界を表現する作品を創り、それが皆様に喜んで頂けるのがうれしい、との事です。若屋に「器ギヤラリー」を開いていらつしやいます。これからの作品が大変楽しみです。

※TEL 0797-350086 月休

関東支部だより

90 漁 英子

98年度関東支部総会は、五月二十九日、日暮里サニールホールにて参加者約50名で開催されました。総会後には下記の音楽会が開かれ、また茶話会も催されました。会員相互の研鑽と親睦を図るファンタジーらしい有意義な一時でした。

次回99年度総会は、五月二十五日(火)同ホールにて開催します。講演には、ピアニスト・作曲家としてご活躍中の野平一郎氏をお迎えする予定です。

また関東支部には、十数年前から「ゆりの会」という会員研鑽の場があり、年三回例会を開いています。この会では、57回〜109回までの約30名が、勉強のためや、発表会・リサイタルのリハーサル会場として、お互いの演奏を聴き合っており、会員同志のアンサンブルも活発です。他支部からのゲスト出演も大歓迎です。次回例会は六月二十九日に上大岡で開催します。詳細は96回大山文子さんにお問い合わせ下さい。

〈プログラム〉

1. ピアノ二重奏 RONDO FÜR ZWEI KLAVIERE OP.157 ショパン	94 宮本浩英 94 久野奈奈	5. ピアノ二重奏 GLADIOLUS RAG	94 宮本浩英 94 久野奈奈
2. ソプラノ独唱 「Depuis le jour (Louise)」 「Je suis Thérèse (Migron)」 「Je suis Thérèse (Migron)」	100 小松聖美 97 中嶋祐子	6. ピアノ独奏 コンチェルト 二短調	86 上柳明子
3. ピアノ二重奏 スカーラムーシェ	109 坂寺真由美 109 米沢悠子	7. ソプラノ独唱 四つの最終の伴奏 I Frühling II September III Beim Schläfengehen IV im Abendrot	89 難田純子 97 中嶋祐子
4. ソプラノ独唱 「Martina」 「オマケ」 「オマケ」 「オマケ」	88 渡千穂子 88 風見麻洋子		

永眠会員

50 古畑 敬	97 1 12
68 藤田満智子	4 20
52 今井多美	8 12
60 松井富子	11 22
51 斉藤智恵	12 14
68 佐谷迪子	98 1 4
50 吉田輝子	3 3
57 山岸清子	3 26
69 井上 萌	6 3
63 河野加根子	7 5
63 中村孝子	7 30
71 ザイラー美枝	9 3
77 プリムローズ裕子	11 6
67 今井勲子	12 28

本年度より、永眠された会員名を掲載致します。

クラス委員総会
クラブファンタジーのクラス委員総会が一九九八年五月十八日、甲子園都ホテルにて開かれました。賛美歌に始まり、岡田会長挨拶、役員紹介、会計報告、活動報告の後、日頃、クラブファンタジーと各学年のパイプ役を勤めて下さっているクラス委員の方々との意見交換の場を持ちました。次回は二〇〇〇年に開かれる予定です。

'99年度音楽学部教職員

音楽学部長 若本明志教授
 学 科 長 前中明子教授
 学生主事 奥村智美教授
 辻井 淳助教授
 教 授 池田洋子(P)
 猪本 隆(Co)
 前中明子(P)

中村 健(Cho Orch)
 西 明美(Vo)
 西田直孝(F)
 奥村智美(P)
 音川絃一(P)
 斎藤言子(Vo)
 澤内 崇(Co)
 山上明美(P)
 若本明志(Vo)

助 教 授 石黒 晶(Co)
 橘 茂(Vo)
 田中修二(P)
 辻井 淳(Vn)
 客員教授 カルマン・ドライ(P)
 河野有宏
 坂井紀子
 田中典子
 松浦陽子

〔新任〕

非常勤講師 林 裕(Vc)

金井信之(Cl)

オルガン要員 正木叔子

〔退職〕

非常勤講師 宮下和人(音楽理論)

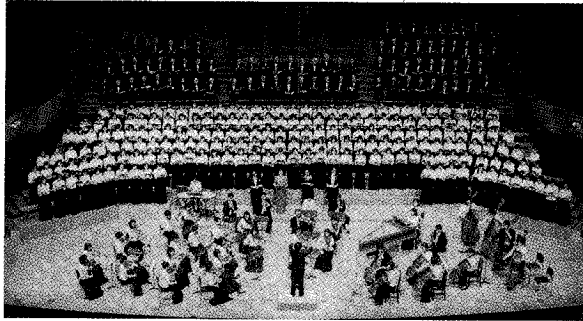
新田英開(Vo)



音楽学部からのお知らせ

一九七六年四月～一九八九年三月まで設置されてい
 ました研究生制度につい
 て、プロフィールなどに研
 究科、あるいは研究コース
 修了と書いておられる方が
 ありますが、「研究生修了」
 と改めてくださいますよ
 う、お願いします。

(音楽学部事務室)



ちなみに今年度の定期演
 奏会は、十一月三十日(火)
 新大阪にあるメルパルクホ
 ールでの公演となる。

音楽学部定期演奏会
 昨年十二月八日(火)
 ザ・シンフォニーホールで
 九十八年度の定期演奏会が
 開催され、ヘンデルの不朽
 の名作「メサイア」が演奏
 された。出演者は音楽学部
 の斎藤言子助教授(ソプラ
 ノ)、西明美助教授(アル
 ト)、若本明志教授(テノ
 ール)、今回特別にお招き
 した東京芸術大学の多田羅
 迪夫助教授(バス)と錚々
 たるメンバー、そして音楽
 学部オーケストラ(四十
 名)、女声コーラス(二百
 一名)、男声コーラスは四
 年前と同じく神戸中央合唱
 団(二十九名)、新月会
 (三十五名)他九名、指揮
 者は中村健教授であった。

春の新人演奏会

一九九八年度卒業演奏会
(第116回・61名)は、三月三・
四・五日の三日間、神戸女
学院講堂で、また専攻科の
修了演奏会(第9回・12名)
は二月二十五日宝塚ベガホ
ールにて行われました。

本年度卒業生のうち選抜
された方達による新人演奏
会は、四月二十一日(水)
午後6時半よりいづみホー
ルで、例年通りクラブファ
ンタジー協賛で行われます。
クラス委員を通じて入場
券をご依頼申し上げますの
でよろしくご協力下さい。

(入場料千円)

音楽学部新人演奏会 (P) 土井美緒子 森下 美和 留 由美子 山田 裕子 (Or) 赤尾 里美 (Vn) 豊島 牧子 (Vo) 岡本 寿美 (Co) 川俣ひかる	出演者 小島 幸子 森玉 美穂 浦部 紘子 山岸 敦子 (Cl)久保 明子 岸田 和子	東京読売新人演奏会 5月4日(火)東京芸術劇場 (P) 森玉 美穂
関西新人演奏会 5月26日(水)いづみホール (Co) 岸田 和子 (Vo) 岡本 寿美	オルガン新人演奏会 4月29日(木) 新宿文化センター大ホール (Or) 赤尾 里美	兵庫県新人演奏会 5月8日(土)・9日(日) 兵庫県民小劇場 (P) 土井美緒子 (Vn) 豊島 牧子
西宮フレッシュコンサート'99 4月25日(日) 西宮市民会館アミティホール		(P) 浦部 紘子 (Per) 戸村 精子

会員の皆様へ

住所変更された場合は、必
ず左記へお届け下さい。

今年度は、名簿発行を行
いますので、御協力下さい。

会費についてのお願

90 岩永 美知子
名字変更は、ふりがなを
お願いたします。

会員の皆様には、年会費
千円をお振り込みいただき
有難うございます。大半の
方々は毎年きちんと納入し
て下さいますが、中には長

1999年度クラス委員

53	藤村 居海	鈴子	86	横田 大川	子子
54	土浅 原山	ト敏	87	大小 若宇	子子
55	山高 高山	良幸	88	河大 西中	子子
56	山高 高山	澄幸	89	末中 中田	子子
57	山高 高山	幸澄	90	中末 中田	子子
58	山高 高山	幸澄	91	中末 中田	子子
59	山高 高山	幸澄	92	中末 中田	子子
60	山高 高山	幸澄	93	中末 中田	子子
61	山高 高山	幸澄	94	中末 中田	子子
62	山高 高山	幸澄	95	中末 中田	子子
63	山高 高山	幸澄	96	中末 中田	子子
64	山高 高山	幸澄	97	中末 中田	子子
65	山高 高山	幸澄	98	中末 中田	子子
66	山高 高山	幸澄	99	中末 中田	子子
67	山高 高山	幸澄	100	中末 中田	子子
68	山高 高山	幸澄	101	中末 中田	子子
69	山高 高山	幸澄	102	中末 中田	子子
70	山高 高山	幸澄	103	中末 中田	子子
71	山高 高山	幸澄	104	中末 中田	子子
72	山高 高山	幸澄	105	中末 中田	子子
73	山高 高山	幸澄	106	中末 中田	子子
74	山高 高山	幸澄	107	中末 中田	子子
75	山高 高山	幸澄	108	中末 中田	子子
76	山高 高山	幸澄	109	中末 中田	子子
77	山高 高山	幸澄	110	中末 中田	子子
78	山高 高山	幸澄	111	中末 中田	子子
79	山高 高山	幸澄	112	中末 中田	子子
80	山高 高山	幸澄	113	中末 中田	子子
81	山高 高山	幸澄	114	中末 中田	子子
82	山高 高山	幸澄	115	中末 中田	子子
83	山高 高山	幸澄	116	中末 中田	子子
84	山高 高山	幸澄			
85	山高 高山	幸澄			

年滞納している方もありま
す。支部会費やクラス会費
と紛らわしい面もあります
が、ファンタジーだよりに
同封します振り込み用紙で、
必ずご送金下さるようお願
い致します。ご自身の会費
納入状況を知りたい方は、
会計黒川

- | | |
|---------------|---------------|
| 87 八木 蓉子 | 89 久保 章子 |
| 88 黒川 楓子 | 90 岩永 美知子 |
| 89 久保 章子 | 91 大内 山裕美子(新) |
| 90 岩永 美知子 | 92 大内 山裕美子(新) |
| 91 大内 山裕美子(新) | 93 山内 滋子(新) |
| 92 大内 山裕美子(新) | 94 山内 滋子(新) |
| 93 山内 滋子(新) | 95 山内 滋子(新) |
| 94 山内 滋子(新) | 96 山内 滋子(新) |
| 95 山内 滋子(新) | 97 山内 滋子(新) |
| 96 山内 滋子(新) | 98 山内 滋子(新) |
| 97 山内 滋子(新) | 99 山内 滋子(新) |
| 98 山内 滋子(新) | 100 山内 滋子(新) |
| 99 山内 滋子(新) | 101 山内 滋子(新) |
| 100 山内 滋子(新) | 102 山内 滋子(新) |
| 101 山内 滋子(新) | 103 山内 滋子(新) |
| 102 山内 滋子(新) | 104 山内 滋子(新) |
| 103 山内 滋子(新) | 105 山内 滋子(新) |
| 104 山内 滋子(新) | 106 山内 滋子(新) |
| 105 山内 滋子(新) | 107 山内 滋子(新) |
| 106 山内 滋子(新) | 108 山内 滋子(新) |
| 107 山内 滋子(新) | 109 山内 滋子(新) |
| 108 山内 滋子(新) | 110 山内 滋子(新) |
| 109 山内 滋子(新) | 111 山内 滋子(新) |
| 110 山内 滋子(新) | 112 山内 滋子(新) |
| 111 山内 滋子(新) | 113 山内 滋子(新) |
| 112 山内 滋子(新) | 114 山内 滋子(新) |
| 113 山内 滋子(新) | 115 山内 滋子(新) |
| 114 山内 滋子(新) | 116 山内 滋子(新) |

- | | |
|---------------|---------------|
| 87 足立 真知子 | 88 大川 内玲子 |
| 88 大川 内玲子 | 89 久保 章子 |
| 89 久保 章子 | 90 岩永 美知子 |
| 90 岩永 美知子 | 91 大内 山裕美子(新) |
| 91 大内 山裕美子(新) | 92 大内 山裕美子(新) |
| 92 大内 山裕美子(新) | 93 山内 滋子(新) |
| 93 山内 滋子(新) | 94 山内 滋子(新) |
| 94 山内 滋子(新) | 95 山内 滋子(新) |
| 95 山内 滋子(新) | 96 山内 滋子(新) |
| 96 山内 滋子(新) | 97 山内 滋子(新) |
| 97 山内 滋子(新) | 98 山内 滋子(新) |
| 98 山内 滋子(新) | 99 山内 滋子(新) |
| 99 山内 滋子(新) | 100 山内 滋子(新) |
| 100 山内 滋子(新) | 101 山内 滋子(新) |
| 101 山内 滋子(新) | 102 山内 滋子(新) |
| 102 山内 滋子(新) | 103 山内 滋子(新) |
| 103 山内 滋子(新) | 104 山内 滋子(新) |
| 104 山内 滋子(新) | 105 山内 滋子(新) |
| 105 山内 滋子(新) | 106 山内 滋子(新) |
| 106 山内 滋子(新) | 107 山内 滋子(新) |
| 107 山内 滋子(新) | 108 山内 滋子(新) |
| 108 山内 滋子(新) | 109 山内 滋子(新) |
| 109 山内 滋子(新) | 110 山内 滋子(新) |
| 110 山内 滋子(新) | 111 山内 滋子(新) |
| 111 山内 滋子(新) | 112 山内 滋子(新) |
| 112 山内 滋子(新) | 113 山内 滋子(新) |
| 113 山内 滋子(新) | 114 山内 滋子(新) |
| 114 山内 滋子(新) | 115 山内 滋子(新) |
| 115 山内 滋子(新) | 116 山内 滋子(新) |

編集後記
あつという間に一年がた
つてしまいました。桜の花
だよりと共に、クラブファ
ンタジーだよりをお届けす
ることができてホッとして
います。会員数も二千百余
名となり、色々な場所であ
り心強い思いです。ファン
タジーだよりが交流の一助に
なれば幸いです。皆様から
の御意見やアイデアをお待
ちしています。